

補聴器用 電池の はなし

電池のことを正しく理解して上手に使いましょう。



2019.09

電池の種類

補聴器用の電池は酸素に触れることで発電する「空気電池」です。見た目が同じようでもゲーム機等に使用する電池とは全く違う物です。

安全でクリーンな無水銀電池

補聴器は直接人体に触れるもののため、安全性の面と廃棄時の環境面への配慮から、水銀を使用しない「無水銀電池」が使われています。

- ・欧州では、2015年10月1日以降有水銀ボタン電池の生産が禁止されています。
- ・日本においても、「水銀汚染防止法」により、2018年1月1日より、水銀含有率2%以上の空気亜鉛電池の製造、使用、輸入ができなくなりました。



使用上の注意



電池は幼児の手の届かない所に置くこと。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



万一、液もれしたアルカリ水溶液が目に入ったときは水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合には水で洗い流してください。



充電、ショート、分解、加熱、火中への投入禁止。液もれや破裂の恐れがあり、けがや機器の故障などの原因となります。



+ - を正しく入れてください。



使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

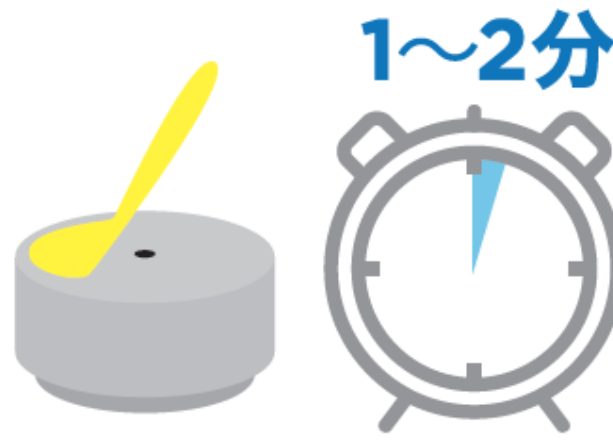
使い終わったら



ショートしないようにセロハンテープなどで絶縁し、お住まいの自治体の処分方法に従ってください。

電池の 上手な使い方

補聴器に入れるのは 1~2分程度待ってから



新しい電池に交換する際はシールを剥がしてから1~2分程度待ってから補聴器に入れましょう。特に冬場は音が聞こえてくるまで時間がかかる場合があります。

※電池は化学反応により発電します。一般的に外気温が低いと発電能力が劣り、寿命も短くなります。

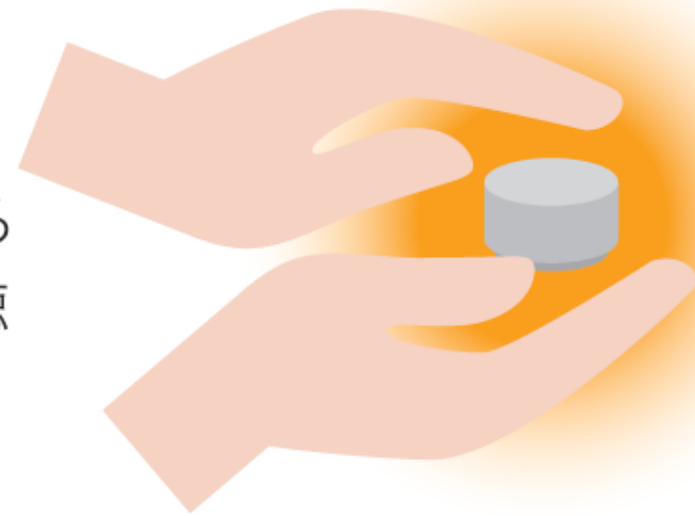
乾燥器や乾燥ケースに入れる時は

補聴器を乾燥器や乾燥ケースに入れる際の空気電池の取り扱いについては、お使いの乾燥器、乾燥ケースの説明書の指示に従ってください。



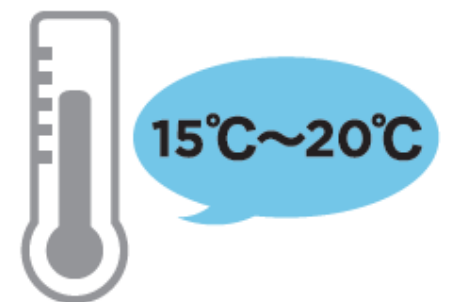
寒い日は手で暖めてから

低温下では電池の電圧が下がり、そのまま使用すると電池の能力が十分に発揮できなくなります。補聴器に入れる前に手で暖めてから使いましょう。



直射日光・高温・高湿・低温の場所を避けて保管

電池の保管場所にも気をつけましょう。換気の良い常温で保管します。冷蔵庫には絶対に入れないでください。



冬期は様々な要因によって電池寿命が **35%以上短く** なることがあります。



低温による
電圧の低下

環境温度が0°Cの場合と20°Cの場合を比較すると、電池寿命が半分以下になることがあります。



乾燥による
電圧の低下



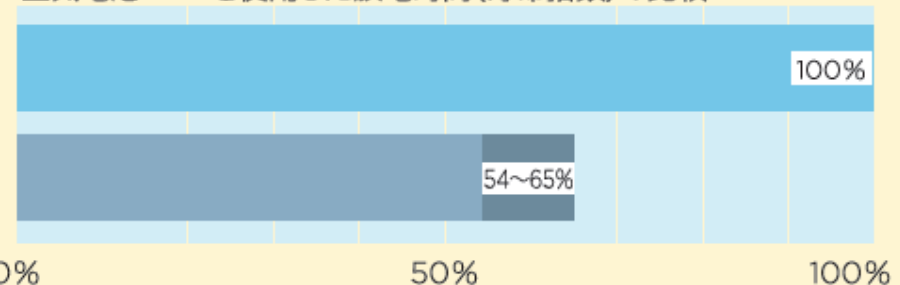
二酸化炭素濃度上昇による電圧の低下
ストーブなどを使う冬場は二酸化炭素濃度が上昇しやすくなります。

乾燥・二酸化炭素による影響

空気電池PR41を使用した放電時間(寿命指数)の比較

通常状態
20°C 60%RH CO₂:2000ppm以下

冬の乾燥時期
暖房機を2~3時間使用
20°C 15%RH CO₂:4000ppm以下



社団法人電池工業会資料より

※電池寿命は、補聴器の設定や使用状況によって変わることがあります。